

第3回 平成28年8月20日(土)

外部講師を招いての勉強会

第3回は豊橋市内の関心のある方同士での意見交換だけでなく、他市の取組を学ぶ場にしようということで、外部講師を招いての勉強会形式で実施しました。

講師は福岡県大牟田市より猿渡進平氏を招き、医療機関で働く立場から実践されてきた様々な取り組みについて事例をまじえながらお話していただきました。



豊橋市役所長寿介護課
地域予防啓発グループ
電話：51-2338

内容

- 1 講演
認知症になっても安心して暮らせる
まちを目指して～大牟田市の取組
から学ぶ～
- 2 意見交換

参加者 80名
場所 あいトピア

講演を聞いて意見交換で、こんな意見がでました

- ・隣近所の協力と見守りが大切。近所の人が見つけてくれたことがある。
- ・認知症を公表したくないという家族にはどう対応したら良いか。
- ・見守りとケアは簡単ではない。
- ・施設やグループホームを在宅の1つとして考えることも重要ではないか。
- ・認知症を地域の人を知ることは重要
- ・認知症をまだ自分事ととらえられていない
- ・徘徊しても見つけてくれることがネットワーク
- ・徘徊している人を助けることができるのは地域の人
- ・大牟田に比べて豊橋は遅れている？どのように進めていけばよいのか。
- ・高齢者に生きがいを
- ・おしゃべりの場があることが認知症予防になるのではないか。温かい地域を。

最後に講師よりコメント



例えば、家族が認知症について隠す…について、鹿児島県では、周囲の人は皆で支えていこうと思っていると伝えたく模擬訓練を実施しているような地域もある。
その地域の方々が、自分の地域について何が課題でどうしていきたいのか？をとにかく話合うことが大切。